

安曇野市公共下水道事業運営審議会 会議概要

- 1 審議会名 第2回安曇野市公共下水道事業運営審議会
- 2 日 時 平成18年11月24日 午後1時30分から午後3時30分まで
- 3 会 場 豊科総合支所 2階第2会議室
- 4 出席者 青嶋委員 太谷委員 中山委員 藤澤委員 丸山委員 平林委員 太月委員
加科委員
- 5 市側出席者 小松部長 大澤課長 等々力課長 相馬課長 小穴課長 嶋田課長 曾根原課長
秋山係長 二木係長 水谷副主幹 塚田副主幹 森田主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成18年11月30日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会 (大澤課長)
- (2) 会長あいさつ
- (3) 議事

下水道使用料の適正化について

- ① 繰入金について
- ② 安曇野市の下水道会計の現状について
- ③ 今後の進め方について

- (4) 閉会 (会長)

2 審議概要

- ① 繰入金について
- ② 安曇野市の下水道会計の現状について

事務局：資料により説明

委 員 資料中、値上率19年度から11%、22年から10%とありますがこれは、どの金額に対する値上げ率ですか。

事務局 安曇野市全体の使用料収入に対する値上率です。

委 員 使用料金は三郷・堀金・明科6.7%、穂高10%高いとあるが、これは豊科を基準としたものですか。

事務局 はい。

委 員 この値上率は豊科地域をこの率で上げるということですか。

事務局 安曇野市全体です。安曇野市全体で11億2090万の使用料収入に対して11%増加をするということですか。

委 員 5地区の累計ですか

事務局 はい。

委 員 使用料収入不足は今までの累積ですか。下水道の開始の際に収支均衡になる料金を決めたのではないのか。

事務局 本来はそうです。最初は受益者負担金収入が多額であった事、高額な料金設定をすると普及率が上がらないということもあり、各町村で考慮して決めたと思います。

委 員 合併して1年経過して、合併に関して様々な意見があるが、豊科では料金統一は値上げになることから不平多い。

事務局 当初料金の決定については使用量も伸びると予想して設定しました。交付税も変更があった。合併協議会では流域下水道の処理料の改定に併せて料金改定を予定しました。

協 議 事 項 等

- 委員 そこが分からない。流域下水道の処理料が下がるのになぜ値上げか。
- 事務局 流域下水道は処理場と幹線管渠で料金計算を行うが、市は各枝線や起債償還金を考慮して料金計算するためです。
- 事務局 大都市部が料金設定のモデルとなっているが、大都市部の下水道は早期に供用開始されており、上水道料金より安いところもたくさんあり、下水道料金を適正な水準に設定することは、難しかった。交付税の大幅な削減もあり、適正な料金設定が求められている。
- 委員 そのことは新聞報道にありました。しかし、地域の事情がある。前回の資料との水洗化率の違いはどこにありますか。
- 事務局 人口比率と世帯比率での違いです。
- 委員 接続率は26年度どのくらいの率で見ているか。
- 事務局 最終的には80%弱です。
- 委員 各地域の推移の数字ですね。
- 事務局 平均77%です。豊科地域が他の地域より高く、若干各地域で差があります。世帯で豊科地域は75%近くになっています。
- 委員 豊科地域の繰入基準額はどの程度か。
- 事務局 各地域個別の金額はありません。安曇野市での算定です。
- 委員 合併は統一が前提だが、各地域の調整期間を考えているのか。
- 事務局 現在、起債残高が400億を超え一般会計の起債残高より多い、というとても厳しい状況です。11億の収入に20億の償還という厳しい財政状況です。各地域の事情はありますが市全体を考えていただきたい。
- 委員 原則論としては分かる。経過措置を求めている。また、明科は27年度でも使用料収入で維持管理費が賄えない。なにか、方策は無いのか。当初計画に問題があるのでは。
- 事務局 明科は流域下水道ではなく、自前の処理場を所有しており、現行の体制でのシミュレーションです。管理の一体化等を考えている。
- 委員 明科では今後10年間で使用料金は1400万弱しか増が見込めないということか。
- 事務局 接続率の低い現状もあり、計算ではそうなります。
- 委員 料金値上は水洗化率の低下につながるのでは。
- 事務局 接続義務もありますので、接続率を上げるよう努力したい。
- 委員 穂高地域の山麓地帯の整備はどのように考えているか。
- 事務局 公共下水道、合併浄化槽など多方面から検討したい。
- 委員 水洗化率の向上が必要。しかし、料金改定はネックになる。
- 委員 旧町村では資本的収支と収益的収支を明確に分けて経理を行っていたのか。
- 事務局 官庁会計なので厳密には区分していない。受益者負担金の算出方法や精算など5町村すべてが同じではない。
- 委員 違いがあるのに料金統一はおかしいのでは。
- 委員 過去の経緯は違うが合併したので、一本化で考えてはどうか。
- 委員 一本化は必要。
- 委員 上水道の審議はどうなっていますか。
- 事務局 上水道は、長期間独立採算でおこなっており、各地域の財政状況や料金に大きな格差があります。現在穂高地区で大幅な赤字が予想されており、料金値上を議論していただいております。
- 委員 地域性をある程度考慮した話が出ているのですね。
- 事務局 はい。
- 委員 一本化ではなく。
- 事務局 現行料金では統一は不可能な為、そういう議論になっております
- 委員 下水道も皆様の意見を聞きますと、地域性と調整が必要では。
- 事務局 水道の格差と比べると下水道の格差は少ないと思います。
- 委員 過去の経緯もあるので調整期間が必要では。
- 事務局 段階的な料金改定も検討した経過がありますが、標準使用量では大きな差がないと考

協 議 事 項 等

え、料金統一を提起しました。

委 員 あまり大差ないため一本化は大きな抵抗はないのでは。他の対等合併の事例ではどうなっているのか。

委 員 以前、2団体を視察しました。シビアな問題の為早急に出来ないとのことでした。

事務局 調査して報告します。

委 員 色々な意見があるが、住民感情を考えて、値上の先送りや、率の減少は可能か。

事務局 現行の使用料では大幅な赤字となり一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない。基金の取り崩しなどで凌げば先送りは可能だが財政の弾力性がなくなってしまいます。

委 員 受益者負担金の改定は無いと考えてよいでしょうか。

事務局 三郷・堀金・明科では整備がほぼ終了しており、新規賦課は殆どありません。また、旧町村の基準で算出され、支払い済みの方も多いため改定は難しいと考えます。

委 員 類似団体の資料を欲しい。

委 員 基準外繰入金の比率の資料を欲しい。

事務局 県内の状況を調べます。

委 員 一般会計から繰出しは税である。下水に接続した家庭は税の恩恵を受けるが接続していない家庭は恩恵を受けないのでは。

事務局 一般会計から繰出す理由は、雨水の処理や下水が河川に流れ込まなくなることによる生活環境の改善にあります。

委 員 料金改定を行うと、現在の料金が安価な地区は、改定率が高率になる。段階的な改定が良いのでは。

委 員 改定率の具体的な数字は。

事務局 具体的な数字は方針決定後シミュレーションします。

委 員 方針決定前に数字は出すように。

事務局 はい。

委 員 現在の料金との比較表を作成して欲しい。

事務局 次回試算を作ってお協議いただきたい。

委 員 議会の常任委員会はどのような考え。

事務局 常任委員会には具体的な話はしていません。方針程度です。審議会開始後に議会は開催されていませんので、12月議会で上下水道とも議論の経過について説明させていただきます。

委 員 19年度予算は。

事務局 19年度予算は編成済みですが、審議中ですので料金の部分は空白のままです。

③ 今後の進め方について

次回は12月21日(木)。